

講師プロフィール

(敬称略)

■長谷川和夫

聖マリアンナ医科大学名誉教授
認知症介護研究・研修東京センター名誉センター長
東京慈恵会医科大学卒業後、同大学助教授、
聖マリアンナ医科大学学長、理事長、認知症介護研究・研修東京センター長を経て現職。
1974年長谷川式簡易知能評価スケール開発、
1989年に国際老年精神医学会を主催。
著書に『認知症ケアの心 めくもりの絆を創る』
(中央法規出版)、『認知症診療の進め方—その基本と実践』(永井書店)などがある。

■辻 彼南雄

一般社団法人ライフケアシステム代表理事
医療法人社団互酬会水道橋東口クリニック理事長
東京大学医学部非常勤講師・順天堂大学医学部非常勤講師
北海道大学医学部卒業後、群馬大学医学部神経内科、東京通信病院内科、東京大学医学部老年病科医師を経て、1990年よりライフケアシステム勤務。
著書に『老年学入門』(共著・日本評論社)、
『家庭医が語るシニア世代の不健康管理』(一橋出版)、
『介護における医療との隣接行為ハンドブック』(編著・看護の科学社)などがある。

■中島民恵子

医療経済研究機構主任研究員、認知症介護研究・研修東京センター客員研究員、日本福祉大学 地域ケア研究推進センター客員研究所員
慶應義塾大学大学院にて博士(政策/メディア)取得。
著書に『大牟田市の挑戦！「認知症の人がその人らしく暮らせるまち」をめざして』(筒井書房)などがある。

■マリー・アンヌ・ブリュー

医学博士、パリ経営大学院専門経営学修士
国際長寿センター(フランス)研究部長
ブラジルサンパウロの das Clinicas 病院で心臓病専門医として2年間勤務の後、1996年の国際長寿フランスセンター設立時より事務局長を務める。2003年より現職。その他、製薬業界でさまざまな管理職ポストに就いている。

■李 聖姫

Chungam Silver Care Center 理事長、韓国痴呆家族協会会長
梨花女子大学校美術学部卒業。明治学院大学大学院、上智大学大学院にて高齢者福祉を学ぶ。1994年より韓国痴呆家族協会会長を務め、2006年には若年性認知症患者家族の会を発足。2011年からは大統領特任長官室政策諮問委員就任するなど、高齢者福祉に関わる多くの要職に就任。
著書に『痴呆老人施設ケアの実践』(ソニユク出版社)、
『痴呆老人施設案内集Ⅱ』(ソウル市痴呆老人総合相談センター)などがある。また、
2009年には認知症ケア研修用DVD『心の行路』を制作。
2004年国民勲章木蓮賞受賞。

■渡邊大輔

成蹊大学アジア太平洋研究センター客員研究員、成蹊大学文学部現代社会学科非常勤助手、専修大学・明治学院大学・関東学院大学非常勤講師
慶應義塾大学大学院にて博士(政策/メディア)取得。
著書に『Human Insecurity in East Asia』(共著・United Nations University Press)、
『社会調査の応用』(共著・弘文堂)がある。